

ほとほとに

えねるぎっしゅ

Vol. **27**
2008.3.30

あすかエネルギーフォーラムでは、2月、3月に、集中的にトークサロンや勉強会、ワークショップなどを開催しました。盛りだくさんの内容のため、ニュースレターを2号同時に発行し、ご報告いたします。

それぞれの企画では、専門家からエネルギーに関する様々なテーマで講演いただきましたが、いずれも参加者が自ら考え、意見交換するテーブルトークを実施し、コミュニケーションをはかりました。

また、いつも共催する「フォーラム・エネルギーを考える」の他、資源エネルギー庁、関東経済産業局、埼玉県地球温暖化防止活動推進センター、原子力発電環境整備機構など、多様な主体と共催したことが特徴的でした。恒例の「ネットワーク活動報告・交流会」には、全国から13グループに参加いただきました。



2月1日秋庭理事長

2/1 講演
「地球温暖化の現実とこれからの暮らし」
講師 茅陽一氏

2/1 テーブルトーク
「買い替え戦略 YES or NO」

2/2 講演
「私たちが知りたい高レベル放射性廃棄物」
講師 朽山 修氏

2/2 テーブルトーク
「理解したことをどのように使えるか」

2/2 2007年度活動報告・交流会
あすかエネルギーネットワーク

2/15 見学
「瑞浪超深地層研究所」

2/15 講演
「放射性廃棄物の地層処分について」
講師 二口 政信氏

2/15 テーブルトーク
「高レベル放射性廃棄物ってなに？」
～暮らしとのかかわりかんがえる～

2/26 暮らしのエネルギーセミナー
「ストップ温暖化、省エネからはじめよう」

2/26 講演
「日本のエネルギー事情」
講師 石原 優氏

2/26 講演
「HOW TO 省エネ」
講師 中村 剛氏

2/26 グループディスカッション
「これだけは人に伝えて
実践してほしいこと」

3/8 NUMO 東京ワークショップ
「電気の終着駅はどこ？」

3/8 気軽に話そう テーブルトーク
エネルギークイズ NUMOのCM
質問に答えます「NUMOの話」
電気のふるさとから特産品プレゼント

パンフレット完成！！
「高レベル放射性廃棄物について考えてみました」

28号掲載

地球温暖化とこれからの暮らし ~今すぐ はじめよう CO2 ダイエット~

講演「地球温暖化とその対応」 講師 (財)地球温暖化産業技術研究機構 副理事長 茅陽一氏



(財)地球温暖化産業
技術研究機構・副理事
長 / 副所長
東京大学名誉教授。公
職・著書は多数。

講演を聴いて エネコウイング 小城奈穂美

講演は冒頭、講師から「実際に温暖化が起きているか？」と問われ、対策が世界的にどう進もうとしているか、世界平均気温の上昇は生活に直接関係ある水や食糧など影響が出ていることを認識してほしいと始まった。

ヨーロッパは高緯度にも関わらず熱塩循環で暖かいが、このまま温暖化が進むと循環が切れる。グリーンランド氷床は平均気温の上昇で今1年間に0.5mm溶け毎年加速、全部溶けると7mの海面上昇の可能性があるという説明には衝撃を受けた。

CO2 排出状況で日本(2004)は業務と家庭部門で大きく増加しているのは意外だった。業務部門ではオフィス・小売卸売が伸び面積が増えたのが最大の理由。家庭部門では家電品・暖房が伸びている。新しい機器は効率改善されているが買い換えないと省エネにならない。買い換えをどう考えるかが課題である。

京都議定書の CO2 削減は不確定な要因がたくさんあり2~3%未達成になるのではない。具体的に足りるかどうかは消費者運動に関ると言われ、ポスト京都の3原則に 主要排出国のすべてが参加 各国の事情の差を考慮し一律にはしない 環境保全と経済発展との両立を挙げられた。

最後に受講者の質問への回答で「温暖化は確定的でないことが多い。現実には一般消費者が朝から晩まで考えるのは無理。社会のしくみを作ることが必要」との言葉が印象に残り、自分達にできることを考える必要があると感じた。

茅先生と一問一答

- 質問 断熱性能が良い家での暖房は？
 答え 人がいる所だけ暖めることを勧める。
 質問 原子力発電所からCO2が出ている？
 答え 火力発電所よりCO2の発生は少ない。
 質問 イギリスのスターンレビューは？
 答え 温暖化は確定的でないことが多い。
 質問 安倍前首相の1人1日1kg削減は？
 答え 消費者運動ではなく、社会のしくみで。

テーブルトーク「買い替え戦力YES or NO」チームマイナス6%、1人1日1kg、国民運動

全国から集まった人たちは64人。地域によりエネルギーの感じ方・使い方がまったく違い、家電製品の必要性も利用の仕方も違う。それぞれの地域事情・ライフスタイルを話し合い、各地の「エネルギーと暮らしのかかわり」を知ることはあすかの活動の原点だと再確認しました。

寒い時期の省エネは切実な問題

Aさんは六ヶ所で6人家族・65坪。光熱費が先月14万円。大間町の隣のBさんは、家のリフォームで外壁を二重にし、窓はペアガラス。陽差しがあればポカポカ。寒冷地では冬場野菜を凍らせないために冷蔵庫が必要。

- ・「チームマイナス6%」を聞いたことがある人が多かった。知らない人もいます。
- ・どのようにして「1人1日1kg」削減する？
- ・「国民運動」は戦時中みたいで変だ！

買い替え戦力YES or NO

- 「もったいない」人は「買い替えない」
- ・トップランナー家電へと使い捨て奨励？
- ・増える高齢者は、古いものを大切に使う。壊れたときには「省エネタイプ」
- 行政が白熱球を省エネ蛍光灯に無料交換するなど、システムがあつたらいい。
- 消費者も情報を集めて賢い消費者に！



省エネ家電の買い替えは本当にお得？

講演「日本のエネルギー事情」 講師 石原優氏



関東経済産業局
エネルギー環境部
総合エネルギー広
報係長

関東の1都10県を管轄する部署で、今年度 地元の人とエネルギー問題を考えていこう 家庭部門のCO2排出量を減らそう とこのような企画を実施した。快適な生活は健全な経済・エネルギーの安定供給なしには送れないと話された。

「日本のエネルギー事情」と「新・国家エネルギー戦力」について、「エネルギー庁/日本のエネルギー2007」を基に話され、具体的な方法として「家電の省エネ性能カタログ」を配布。

日本のエネルギー消費は、民生・運輸部門で増加、石油依存度の低下とエネルギー源の多様化、アジアのエネルギー消費増加などの内容と共に、2030年に向けた政策・戦略を話された。(中の)

講演「HOW TO 省エネ」 講師 中村剛氏



TVチャンピオン・スーパー家電選手権優勝者。東京電力(株)川越支社生活営業グループマネージャー

2002年のテレビで「家電」の性能知識チャンピオン。新聞で「省エネの伝道師」といわれた。

電気は停電しないこと・周波数が安定していることが重要だが、家庭ではそれは当たり前で、電気の使用目的は、家事を楽にする 趣味を楽しむ 家中を快適な環境にすること。頻繁に買い換えないう家電は選び方・使い方が大事。生活を楽しむことと省エネを両立させることができる。エアコン・炊飯器・給湯・照明・冷蔵庫等の具体的な購入・使用ポイントを話された。

選ぶ時は、住宅や将来の家族像を考えたトータルな見方をするようにアドバイスするといわれて、その視点を忘れないようにしたいと思う。(中の)

埼玉県地球温暖化防止活動センターの紹介:「地球温暖化対策の推進に関する法律」24条により県内1団体として平成17年に設立。「啓発・広報活動」「活動支援」など多方面で活動。

50・60歳代で環境問題に熱心なシニア男性の地球温暖化防止活動推進員が多く、関東経済産業局に入局予定の大学生も参加し計58人。顔見知りが多かったので和やかに進行。

参加者は、グループ討議で国のエネルギー政策に関わる人と直接話せて満足したようです。

また、家電については、意外に知らないことが多かった・新しい情報を得た・家庭や地域で生かそうという声があがりました。

グループディスカッション

これだけは人に伝えて実践して欲しいこと

今日知ったこと(抜粋)

家電製品の選び方にもノウハウがある
電力消費は冷房より暖房が沢山使う
家の中での照明の消費電力の割合が多い
掃除機は弱でも強でも効果は同じくらい
省エネカタログが発行されている
石炭による発電の割合が多い
原子力発電の効率アップの重要性

今日から、これをやります(抜粋)

電化製品を選ぶときは効率を考える
給湯の省エネ 省エネ蛍光灯にす
地産地消 自然環境を守る
聞いたことをまとめて、自治会などで伝える

これだけは伝えたい(抜粋)

「eマーク」を知らせたい!
環境学習・環境教育は大事だ
日本の自給率の低さ

もっと言いたい!!(抜粋)

国や自治体・マスコミはエネルギーへの危機感を持って
情報格差はどうにかならないか
政府はもっと積極的に、何をすればよいかを理解できる端的なCMを放送して欲しい



初めて他のNPOと一緒に討議しました

私たちの エネルギー ネットワーク グループの輪を、全国に広げよう！！

全国に広がるネットワークグループ

1. Ene Female21(札幌市)
2. 函館の環境を考える会(函館市)
3. はまなすくらぶ(青森県大間町)
4. げんねんスカーフくらぶ(青森市)
5. フリータイム(青森市)
6. 暮らしをみつめる・・・柏桃の輪(柏崎市・刈羽村)
7. 石川エネの会(石川県)
8. 難の会(御前崎市)
9. Ene Eco Wing(愛知県)
10. えひめエネルギーの会(松山市)
11. 松江エネルギー研究会(松江市)
12. 六ヶ所村読書愛好会(青森県六ヶ所村)
13. あすかエネルギーフォーラム(全国、事務所：東京)

全国に広がっているグループの中で、集まったのは13。今年は青森県から4グループも。初めて顔合わせたグループは、今後も連絡を取り合っていこうと話しました。あすかホームページに団体紹介コーナーがあります。団体の新しい情報に差替えるときは、その都度ご連絡を。(川西)

<http://www.asca-ef.org/public/contents/comp/grpmap.html>



あすかエネルギーフォーラム活動報告

交流会：活動の課題と展望

年齢層が20代から80代まで幅広い68人。エネルギーに関心を持ち続けようとお話しました。

それぞれのグループからの悩み・問題点をあげ話合いました。あすかのネットワークは立ち止まってもまた一歩踏み出せる勇気をもたらえる場だと感謝します。

(Ene Female21 前田)



課題発表：理想をめざして

どのグループも「知りたい、学びたい、広げたい、行動しよう」を「興味、楽しみ」をベースに勤めている。いろいろな機会を生かして勉強してあらゆる年齢層に興味を持ってもらえるようにしたい。(石川エネの会中野)

昨年のネットワーク交流会で出されていた課題を踏まえて話し合いました。残念なことに、解決していない課題が多いようです。

<課題として上がったこと>

タッフの人材難 資金難 若い会員不足
会員の量と質の確保 催しの人集めが大変
他の団体のトップとつながりを持ちたい 楽しいお得感がある内容と抱き合わせ企画したい
公共施設を会場に 催しは託児つき

定期総会のお知らせ

NPO法人あすかエネルギーフォーラム平成20年度総会と基調講演を下記のように開催いたします。皆様のご参加をお待ちしています。

開催日：5月16日(金)13時30分～16時30分

会場：都市センターホール(千代田区平河町2-4-1)

基調講演：「新エネルギーへの期待と課題」(仮題) 講師：柏木 孝夫氏(東京工業大学教授)

5月17日(土)の予定は、ホームページをご覧ください。URL：<http://www.asca-ef.org>

問い合わせ先：あすかエネルギーフォーラム事務局

Tel03-5640-0777 Fax03-5640-2636 E-mail: info@asca-ef.org